

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 9 月 29 日 (2011.9.29)

【公開番号】特開 2009-98646 (P2009-98646A)

【公開日】平成 21 年 5 月 7 日 (2009.5.7)

【年通号数】公開・登録公報 2009-018

【出願番号】特願 2008-230533 (P2008-230533)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

G 0 2 F 1/1343 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 F 1/133 5 5 0

G 0 9 G 3/20 6 2 4 D

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 4 2 E

G 0 9 G 3/20 6 1 1 Z

G 0 9 G 3/36

G 0 2 F 1/133 5 7 5

G 0 2 F 1/1368

G 0 2 F 1/1343

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 11 日 (2011.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画素と、前記画素にデータ電圧を伝達する薄膜トランジスタとが備えられたアレイ基板と、

前記アレイ基板と対向して結合する対向基板と、

前記アレイ基板と前記対向基板との間に介在する液晶層と、を含み、

前記画素は、

電圧レベルが変化する共通電圧の供給を受けるメインストレージ電極と、

前記データ電圧がメイン画素電圧として印加され、前記メインストレージ電極とオーバーラップし、前記共通電圧の電圧レベル変化によって前記メイン画素電圧が変化するメイン画素電極と、

前記データ電圧がサブ画素電圧として印加され、前記メインストレージ電極とオーバーラップせず、前記共通電圧の電圧レベル変化によって前記サブ画素電圧が変化しないサブ画素電極と、を含み、

前記液晶層の液晶は、誘電率異方性 () が、 $-3.8 < \quad < -2.2$ であることを特徴とする液晶表示パネル。

【請求項 2】

前記液晶層の液晶は、誘電率異方性 () が、 $-3.6 < \quad < -2.7$ であることを

特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示パネル。

【請求項 3】

前記液晶層の液晶は、弾性定数比率 (K_{33} / K_{11}) が、 $1.154 < K_{33} / K_{11} < 1.5$ であることを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示パネル。

【請求項 4】

前記液晶層の液晶は、弾性定数比率 (K_{33} / K_{11}) が、 $1.155 < K_{33} / K_{11} < 1.385$ であることを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示パネル。

【請求項 5】

前記液晶層の液晶は、弾性定数比率 (K_{33} / K_{11}) が、 $1.154 < K_{33} / K_{11} < 1.5$ であることを特徴とする請求項 2 に記載の液晶表示パネル。

【請求項 6】

前記液晶層の液晶は、弾性定数比率 (K_{33} / K_{11}) が、 $1.155 < K_{33} / K_{11} < 1.385$ であることを特徴とする請求項 2 に記載の液晶表示パネル。

【請求項 7】

前記メイン画素電極と前記サブ画素電極との面積比率は、 $1:1 \sim 1:1.2$ であることを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示パネル。

【請求項 8】

画素電極と、前記画素電極にデータ電圧を伝達する薄膜トランジスタとが備えられたアレイ基板と、
前記アレイ基板と対向して結合する対向基板と、
前記アレイ基板と前記対向基板との間に介在する液晶層と、を含み、
前記画素電極は、
電圧レベルが変化する共通電圧の供給を受けるメインストレージ電極と、
前記データ電圧がメイン画素電圧として印加され、前記メインストレージ電極とオーバーラップし、前記共通電圧の電圧レベル変化によって前記メイン画素電圧が変化するメイン画素電極と、
前記データ電圧がサブ画素電圧として印加され、前記メインストレージ電極とオーバーラップせず、前記共通電圧の電圧レベル変化によって前記サブ画素電圧が変化しないサブ画素電極と、を含むことを特徴とする液晶表示パネル。

【請求項 9】

前記液晶層の液晶は、弾性定数比率 (K_{33} / K_{11}) が、 $1.154 < K_{33} / K_{11} < 1.5$ であることを特徴とする請求項 8 に記載の液晶表示パネル。

【請求項 10】

前記液晶層の液晶は、弾性定数比率 (K_{33} / K_{11}) が、 $1.155 < K_{33} / K_{11} < 1.385$ であることを特徴とする請求項 8 に記載の液晶表示パネル。